表１　サーバ型電子計算機に係る基準エネルギー消費効率

| 区分 | | | 基準エネルギー消費効率 |
|---|---|---|---|
| ＣＰＵの種別 | Ｉ／Ｏスロット数 | ＣＰＵソケット数 | |
| 専用ＣＩＳＣ | 32未満 | | 1,950 |
| | 32以上 | | 2,620 |
| ＲＩＳＣ | ８未満 | | 13 |
| | ８以上40未満 | | 31 |
| | 40以上 | | 140 |
| ＩＡ64 | 10未満 | | 6.2 |
| | 10以上 | | 22 |
| ＩＡ32 | ０ | | 1.3 |
| | １以上７未満 | ２未満 | 1.2 |
| | | ２以上４未満 | 1.9 |
| | | ４以上 | 6.7 |
| | ７以上 | | 7.4 |

備考）１　「専用ＣＩＳＣ」とは、ビット数の異なる複数の命令を実行できるように設計されたＣＰＵのうち、電子計算機毎に専用に設計されたものをいう。

２　「ＲＩＳＣ」とは、ビット数の異なる複数の命令を実行できるように設計されたＣＰＵ以外のＣＰＵをいう。

３　「ＩＡ64」とは、ビット数の異なる複数の命令を実行できるように設計されたＣＰＵのうち、専用ＣＩＳＣ以外のものであって、64ビットアーキテクチャのものをいう。

４　「ＩＡ32」とは、ビット数の異なる複数の命令を実行できるように設計されたＣＰＵのうち、専用ＣＩＳＣ以外のものであって、32ビットアーキテクチャのものをいう。

５　エネルギー消費効率の算定法については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく経済産業省告示第74号（平成22年３月31日）の「３エネルギー消費効率の測定方法⑵」による。以下表２において同じ。

表２　クライアント型電子計算機に係る基準エネルギー消費効率

| 区分 | | | | 基準エネルギー消費効率 |
|---|---|---|---|---|
| クライアント型電子計算機の電源及びメモリチャネル数の種別 | 主記憶容量 | 独立型ＧＰＵ | 画面サイズ | |
| | 16ギガバイト以上 | | | 2.25 |
| | ４ギガバイト超16ギガバイト未満 | | | 0.34 |
| | ４ギガバイト以下 | | 17型以上 | 0.31 |
| | | 搭載 | 17型未満 | 0.21 |
| | | 非搭載 | 12型以上17型未満 | 0.15 |
| | | | 12型未満 | 0.21 |
| 電池駆動型以外のものであってメモリチャネル数が２以上のもののうち電源装置にＡＣアダプターを用いるもの | | | | 0.29 |
| 電池駆動型以外のものであってメモリチャネル数が２以上のもののうち電源装置にＡＣアダプターを用いないもの | 16ギガバイト以上 | | | 2.25 |
| | ４ギガバイト超16ギガバイト未満 | 搭載 | | 0.51 |
| | | 非搭載 | | 0.64 |
| | ４ギガバイト以下 | | | 0.53 |
| メモリチャネル数が２未満のもの | | | | 0.51 |

備考）１　「メモリチャネル数」とは、メモリコントローラから分岐する主記憶装置へのバスインターフェースの論理チャネルの数をいう。

２　「電池駆動型」とは、専ら内蔵された電池を用いて、電力線から電力供給を受けることなしに使用され得るものをいう。

３　「独立型ＧＰＵ」とは、画像データ処理用のプロセッサのうち、専用のローカルメモリを有するものをいう。

４　「画面サイズ」とは、表示画面の対角外径寸法をセンチメートル単位で表した数値を2.54で除して小数点第２位以下を四捨五入した数値をいう。

表３－１　デスクトップコンピュータ、一体型デスクトップコンピュータ及びシンクライアントのモード別比率

| モード | 従来型 | プロキシ対応型（完全なネットワーク接続性） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 基本能力 | 遠隔復帰 | サービス検知／ネームサービス | 全対応 |
| $T_{OFF}$ | 45％ | 40％ | 30％ | 25％ | 20％ |
| $T_{SL}$ | ５％ | 15％ | 28％ | 36％ | 45％ |
| $T_{LI}$ | 15％ | 12％ | 10％ | ８％ | ５％ |
| $T_{SI}$ | 35％ | 33％ | 32％ | 31％ | 30％ |

備考）　プロキシ対応型（完全なネットワーク接続性）とは、スリープモード又は10W以下の電力での代替低電力モードの間、ネットワークの存在を維持し、さらなる処理を要求された場合に判断良く復帰するコンピュータの能力をいう。以下表３－２において同じ。

①基本能力とは、低電力の間、システムがネットワークへの対応とネットワークの存在を維持するためインターネットプロトコル（IPv４及びIPv６）に対応する能力があることをいう。